

真珠貝養殖にも補助

水産庁の水俣病対策

水産庁は水俣病の対策費として本年度予算に九百六十八万円（前年度百九十五万円）を計上したが、近く熊本県と打ち合わせたうえ具体的な実施策を決める。

同庁の方針によると、本年度は予算増額にともない、対策実施範囲を水俣湾対岸の天草郡御所浦などにも拡大、事業の種類も

主に真珠母貝養殖、ブリシビ引きナワつりとする方針で、補助率は二分の一、対策事業と補助金策の通り。（カツコ内補助金、単位万円）

一、真珠母貝養殖事業（六七九）

直接漁業に従事しないものを対象として行ない、養殖場の選定を

県当局と打ち合わせて決めるが、

水産庁としては水俣市袋湾、葦北郡津奈木湾などを一応候補地にあてている。

一、漁場転換対策費（二八九）

対馬沖のイカつり船（二十隻）とブリシビ引きナワつり（十隻）の用船費で関係漁民の一部をこれにより他漁業に転換させる。